

## じょう しき 常 識

わたしのうちに今、ブラジルのアナさんがホームステイしています。アナさんがかぜをひいたとき、母は「かぜなんだから、シャワーを浴びたり、おふろに入ったりしたらだめよ。」と言いました。アナさんは「どうしていけないかわかりません。病気のときは清潔が大切だし、わたしのうちでは熱が下がるようにシャワーを浴びたり、ぬるいお湯に入ったりします。」と言いました。それを聞いて、わたしたちはびっくりしました。熱があつたり、かぜをひいたりしているときは、おふろに入らないほうがいいと信じていたからです。学校で友達に聞いてみましたが、みんな「おふろは入らないほうがいいと思う。」と言いました。どうしてそう思うか、聞きました。「常識だよ。子どもときから、いつも言われたよ。」わたしはどうしてそんな常識ができたか、調べてみました。

昔、日本の家は冬とても寒かったので、熱いおふろに肩まで入って体を温める習慣ができました。熱いおふろは気持ちがいいですが、長く入ると、疲れます。体の調子が悪いとき、おふろに入ると、病気がひどくなります。それで、かぜのときや熱があるときは、おふろに入るといけないと思うようになりました。今は家の中も暖かいし、シャワーもあるし、ほとんど問題はありませんが、昔の常識のとおりになっている人が多い

いのです。

食べ物<sup>た もの</sup>について昔<sup>むかし</sup>から言<sup>い</sup>われている常<sup>じょうしき</sup>識<sup>し</sup>もあります。「うなぎと梅干し<sup>うめぼ</sup>」  
「すいかとてんぷら」などはいっしょに食<sup>た</sup>べると、おなかをこわすと言<sup>い</sup>われて  
います。医学<sup>いがくてき</sup>的に正<sup>せい</sup>しいものはほとんどないのですが、多<sup>おお</sup>くの人<sup>ひと</sup>がまだ信<sup>しん</sup>じ  
ています。

生活<sup>せいかつ</sup>が変<sup>か</sup>わっても、昔<sup>むかし</sup>の常<sup>じょうしき</sup>識<sup>し</sup>をそのまま信<sup>しん</sup>じているのは変<sup>へん</sup>です。時々<sup>ときどき</sup>そ  
の常<sup>じょうしき</sup>識<sup>し</sup>が正<sup>ただ</sup>しいかどうか、どうしてその常<sup>じょうしき</sup>識<sup>し</sup>ができたか、考<sup>かんが</sup>えてみたほう  
がいいでしょう。

大新所局 『大家的日本語 讀本篇 進階』 より